

2004 年度 経済原論 : 期末試験

2004 年 7 月 21 日 (水) 実施

< 解答・採点基準 >

[第1問]

高橋君：ポテト、清原君：ハンバーガー

特化した方が有利なことを示せばよい。

高橋君：ハンバーガー、小久保君：ポテト

特化した方が有利なことを示せばよい。

渡辺さんの比較優位は経営にあるから。

[第2問]

P の水平線と需要曲線の交点から横軸に垂線を引いたときにできる長方形の面積。

収入が減る場合。(5 点)

需要曲線の価格弾力性が小さく、垂直に近いほど、需要が大きく減少し、収入も減る。(5 点)

「需要 < 供給のとき」や「価格が均衡価格よりも高いとき」は 5 点のみ。

需要曲線が左下方へシフトする。(5 点)

価格が低下するか、需要量が減るか、またはその 2 つの組み合わせにより収入が減る。(5 点)

[第3問]

予算制約式： $250x + 200y = 10,000$

ただし、等号は 也可。 < は不可 (1 万円のケースが含まれなくなるので)。

予算制約線がアイスコーヒー側の軸と 40、麦茶側の軸と 50 で交わることが明示してあること。

不可 (=11,000) 可 (=9,500) 可 (=10,000) 不可 (=10,500) 可 (=10,000)

予算制約式： $400x + 200y = 10,000$

作図のポイント：予算制約線がアイスコーヒー側の軸と交わる点は 25 リットル。

[第4問]

意思決定、または資源配分

資源が無限に存在すれば、意思決定の必要がなく、経済学的な分析も不要になる。

意思決定を行う上で価格を目安にする方法が、人々の「必要度」をもっとも正しく反映しており、(必要性の高いところに沢山という意味で) 効率的な資源配分がなされるから。